

第35回クリーンセンター滋賀環境監視委員会会議概要

1. 日時 平成29年3月1日(水) 14:15～16:30

2. 開催場所 クリーンセンター滋賀 研修室 他

3. 出席者 環境監視委員

学識経験者:金谷委員長

住民代表:中島(常)委員、東委員、

松山委員、渡邊委員、

中島(仁)委員

事業者:深川委員、乾委員

滋賀県:谷口委員

甲賀市:村田課長(保井委員代理)、

中島委員、森田委員

公社:岡治委員

事務局:公益財団法人滋賀県環境事業公社

〔 内藤副所長、奥野次長、
清水副主幹 〕



4. 議事概要

(1). あいさつ(公社 岡治常務理事)

(2). 活動内容報告

1)水質調査結果について.....資料1

2)硫化水素自主測定結果について.....資料2

脱硫剤交換マニュアルについて.....資料5

3)搬入実績について.....資料3

4)放射線の自主測定結果について.....資料4

5)第3期、第4期施設整備工事について.....資料6

【主な意見および質疑】

(水質検査結果について)

・地下水の水質について、砒素が検出されていることについて、自然由来のものであることは理解できるが、事業者として処分場が原因でないことを説明できるようにしておくべき。

→了解しました。

・新たに委員となったので、水処理施設での水処理の方式について教えてほしい。

→公社パンフレットにて説明。

(硫化水素自主測定結果について)

- ・硫化水素濃度の高い一部のガス抜き管に脱硫装置を設置しているとのことだが、ガス抜き管は地下でつながっているため、他のガス抜き管については、どのような対応をしているのか教えてほしい。
→他のガス抜き管についても、必要に応じて管の出口に簡易着脱式のカートリッジを取り付けて対応している。これは、資料2でお示している月1回の調査の結果により判断している。
- ・脱硫装置の効果が分かるようにデータで説明してほしい。
→脱硫剤の交換直後は硫化水素の発生はなくなる。この効果は数日でなくなることもあれば、数週間持続する場合もあるので、単純にデータにより効果をお示しするのは難しい。毎日、朝に脱硫装置周辺で硫化水素濃度を測定しており、脱硫剤の能力が落ちてきていると判断した場合には脱硫剤を交換している。この対策を今後も継続して場外に影響がでないように管理していく。
- ・周辺環境についての調査はしているのか。しているなら、対策前後の効果について示してほしい。
→月1回ずつ周辺の7地点で臭気指数を測定している。また、環境影響評価事後調査に定められているとおり、年1回は敷地境界で、臭気指数、悪臭物質22物質の調査を実施している。
- ・一時期に比べて臭気はおさまっている。今後も対策を継続してほしい。
→了解しました。

(搬入実績について)

- ・硫化水素対策として、ばいじんの搬入量を確保したとのことだがどのように確保したのか。
→滋賀県湖南中部浄化センターのばいじんの処理を受託することにより確保した。

(第3期、第4期施設整備工事の概要について)

- ・展開検査場での全量展開検査を実施するために、この工事で展開検査場の拡張などは実施しないのか。
→展開検査場だけでなく埋立処分場内での目視による検査を実施しており、実質的には全量展開検査は実施できていると考えている。
- ・展開検査場を大きくすること自体が難しいのか、現場での目視検査の方が効率が良いのか。
→展開検査場を大きくすることは物理的に難しい。現場での目視検査は、重機を使用して中まで確認できるので詳しく確認できると考えている。
- ・開業前にしていた説明や地元との協定と現在の搬入時の検査方法に齟齬がないかなどを整理し、地元に対してしっかりと説明するように。
→了解しました。

◎次回、環境監視委員会は8月ごろに開催予定。